

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 183

事務事業名	民間施設整備事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	長寿介護課		
課長名	山下 志朗	内線	89-100
担当者名	本田 愛	内線	89-106

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020203	高齢者が暮らしやすいまちづくり
施策		高齢者を地域で支える体制の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	3	民生費	
項	1	社会福祉費	
目	2	老人福祉費	
事業コード	040000	民間施設整備事業	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	振興資金の貸付を受けた社会福祉法人、社会福祉等設備整備国庫補助金及び県補助金の交付を受けた社会福祉法人		
意図 対象をどのような状態にしたいか	特定の福祉施設を整備しようとする社会福祉法人の借入金の利子の一部を支援することにより民間による社会福祉施設の整備促進を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	現在、社会福祉法人が担う特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、在宅介護支援センターの3施設に対して利子補給を行っている。		
事業期間	昭和 57 年度 ~ 平成 年度	実施方法	
根拠法令、要綱等	大村市社会福祉事業振興資金貸付金に対する利子補給補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 利子補給補助金交付施設	計画値	3	3	3	3	
		実績値	3	3	3		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 利子補給補助金交付額	計画値	265	226	188	151	
		実績値	265	226	188		
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	265	226	188	151	112	74	36	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	265	226	188	151	112	74	36	
② 人件費(千円)	238	453	423	218	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.03	0.06	0.06	0.03				
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	503	679	611	369				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	昨年度は、利子補給対象施設に対して滞りなく利子補給することができた。今後も社会福祉法人が担う特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、在宅介護支援センターの3施設に対し、利子補給していく。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	平成27年度事業の達成度が100%であったので、今年度も民間による社会福祉施設の整備促進を図るため継続して達成度100%を目指す。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	社会福祉施設は、民間の社会資本を活用した建設形態が主体であり、市はその整備促進を側面的に支援していく役割を担う必要性はある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	社会資本を活用した民間による整備促進をすることに市の一定の関与の必要性はある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	補助対象全施設に対して、利子補給を行うことができた。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	利子補給により助成を行うことのみで、高齢者保健・福祉の充実への貢献度は高くない。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	補助金以外の経費はかけていないため、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	大村市社会福祉事業振興資金貸付金に対する利子補給補助金交付要綱に定められた補助率に従い負担しているため。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	民間による社会福祉施設の整備促進を図るため、利子補給施設に対して継続的に利子補給を行う。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	民間が主体となった施設の計画的な整備が図られる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。